

# 2学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 69号 通算 133号

2016.10.14 (金) 発行

### 2年生女子のお父様 (Kさん) よりご投稿頂きました。ありがとうございます！

そもそのきっかけは、ローズガーデン (2学年の役員懇親会) で聴いた土井先生のピアノ演奏が、あまりに素敵だったからです。ピアノがなければ聴かせる腕もない、心がいつも半開き?! 私にとっては、土井先生のように自分を表現する術を持っているということや、そのことで周りを感動させたりできるということが、とても羨ましく感じられたのでした。

そんな嫉妬心?があったのと、「学年通信に保護者からも寄稿を」という、年度当初の横山先生の声がけが頭の片隅にずっと引っかかっていたので、いつか学年通信で何か発信しよう...とずっと思いながらも、横山先生に「そろそろ?!」と言われてやっと今原稿を書いています。

さて、前述のように、音楽で自分を表現できるわけでもなく (ひとりカラオケには行きますが)、かと言って絵を描くのも昔から苦手だった私にとっては、「書く」ということはいちばん的を射たアウトプット手法だと思っています。同じく”言葉”を用いた表現でも、「話す」という方法で伝えるとなると、発した言葉は戻ってこない (訂正できない) ことへのビビりを拭うことができない私には、「推敲」の余地があるということが無二の武装手段なのです。思っていることが、より誤解が少なく、高い純度で伝わるように、言葉や言い回しの選択をする。それでいて、読み手の受け取り方も想像しながら、より最適化を図るということが、面倒ではあるけれども、怠ることのできないルーティーンのような気がしています。

言葉を媒介した時点で、頭の中のことが100%の純度で変換されている訳ではないし、受け取る側によっても解釈がそれぞれだろうと思いますが、それでも言葉を通じた「共感」を決して諦めたくないのは、ライター志望の時期もあった? 私が抱く、言葉への信頼と期待からなのかもしれません。

とは言え、文章を書くときはいつも難産。。。スラスラスラっと書けるセンスと度胸が授からないものかと、切に思うのです。

話は変わって、学年通信のこと。子どもが学校に通うようになってからこれまで、小中高を通じていろんな「学年通信」を読んできましたが、横山先生の書くそのボリュームと熱量は、すでに義務教育9年間分をはるかに凌駕してしまっている気がします。

そう、熱量。書きたい、伝えたいという「思い」のある人の文章からは感じられます。そして、そういう思いのある人は、普段からいろんなことを感じたり考えたりしているからこそ、これを伝えよう、あれを伝えようと、発信したいことのストックがどんどん増えていくのだと思います。

生徒の皆さんは、その熱量を感じていますか?そしてその熱エネルギーを変換して、自分なりに何か行動に移してくれたらいいなと思いながらいつも読んでいます。

講演を聞いたり、本を読んだりするのも同じだと思いますが、それらが与えてくれる示唆は、自分一人分の人生ではきっと触れ得なかったものかもしれません。誰かの人生の中で紡がれた知識や情報、考え方を自分の中に取り込みながら、できれば「世のために尽くさん」という考え方や行動に繋がってくれたらいいなと思うのです。

そしてこれは我々大人にも言えることですが、自身の考え方、いわば「価値観」というのは、そんなふう to いろんな考えに触れながら形成されていくものであって、自分一人の、自分に都合のいい考え方のことは、価値観ではなく「偏見」ではないかということに自覚的であるべきだと思います。そして私たち自身もまだまだ完成形な訳ではなく、子育てを通じながら、子どもたちと同じように経験値を積んでいかななくてはならないのでしょう。

...と、ここまで書いてきましたが、先日 (9/19) 聴講した創立130周年記念講演の中で、星先生が「鵜呑みにするな」ということをおっしゃっていたことを思い出します。

得てして人は、何か情報を受信する時に、無意識のうちに自分自身の「フィルター」を通した解釈をしている部分があると思います。もしくは「自分には関係ない」と、無意識にスルーしている場合があるのではないかと思います。なるべく偏見や思い込みを排除して、決して安易に飲み込まない、または排除しない。別の視点から見れば疑問もあるかもしれないし、何を言おうとしている話や文章なのか、背景にあるもの、伝えようとしている思いを、しっかり考えよということでしょうか。

そうです。生みの苦しみを伴いながらここまでいろいろ書いてきましたが、実はそれ自体も鵜呑みにしないようにと言っている二律背反?パラドックス?。そういうケースもあるというリアリズムです(笑)

さて、最後はこんなカオスで終わった原稿ですが(汗)。今度書くときは生徒たちのように、自分の好きなものについてとか書いてみようかな...と思います。いや、次があればの話ですけど(笑)

#### <お礼の言葉>

片桐学年部長の「全国PTA大会レポート」は多くの方から大好評を得ました。続いて頂ける保護者の方は?と思いつめぐらせたとき、あの伝説のローズガーデン後の2次会、通称「男祭り」でKさんからお話頂いたことを思い出しまして、娘さんを通じてお願いしたところでした。

男祭りには片桐さんも参加されたのですが「本当に楽しい会だった」と、今も鮮明に記憶しています。どんな飲み会でも私は楽しいのですが? あの会は特別だったと思っています。気の合う人や気心が知れている人と共にいるのは気楽でいいのですが、何かしら「自分はこうだ!」と一本芯の通った人との出会いはまた格別です。片桐さんもKさんも、またあの場に同席した保護者の皆さんと我々は、あの花〇でお互い語り合い何かを共有できたと確信します。

頂いた文章からは、Kさんのお人柄と奥の深さを感じて何度も読ませて頂きました。話すことでわかることもあります、その人が書いたものからは「それ以上の何か」を感じることができるのです。もっとKさんを知るためにも? ぜひ続編をお願いします (花〇で打合せしますか?)。

高校生活もこの10月で中間地点を過ぎました。「私の趣味・特技 etc.」は2年生全員に依頼する予定です。あともう僅かですので、保護者の方で我が子に、そしてその仲間達に伝えたいことなどありましたら、ぜひ横山まで連絡をお願いします。保護者の皆様の原稿、お待ちしております!





校長先生激励



完走できますように…



フナコッシー先生



体育文化委員長 S S 君



集団催眠ではありません？



前屈キツーい！



瞬間トップを狙う顔



男子スタート！



ここで終わる人多し？



ホッケー3年生



女子バスケットボール部



3年女子



フェンシング面白すぎ



陸上部



ホッケー2年生



女子スタート！



激走！



ヒデオ&コージロー先生



誰でしょうか？



小原先生です



1周目トップは3年 I S 君



ホッケー部 R 君



ホッケー部 D 君



サッカー部 S Y 君



野球部 E T 君集団



陸上部 O K 君と仲間達



先導するフェンの MG 君



理数科 W K & S H 君



文系 K S & K A 君



I S 君、見事2連覇達成！